

光線療法がガンを治すメカニズム!!

「光線療法でガンが治る!!予防できる!!」皆さんはどうお思いでしょうか？
実際は、ガンは治るし、予防も出来ます。
その要素とメカニズムを次の三つに分けて簡単に説明します。

その一つ目は可視光線による脳内リズムの調整があります。

可視光線は地球の自然環境である“夜”と“昼”を区別して、人の脳内リズムを調整し、自律神経の安定に關与して生命維持の基礎をなす生体恒常性を維持する免疫応答を調節しています。

病気は内因性と外因性の二つに大別することが出来ます。一つは内因性の病気。この内因性の病気を守っている内分泌系組織〔ホルモン〕と、もう一つは外から入ってくる外因性の病気。この外因性の病気を守る免疫系組織がありますが、何れも自律神経の支配下にあり、自律神経の不安定化は、ガンのみならず全ての病気の原因となります。

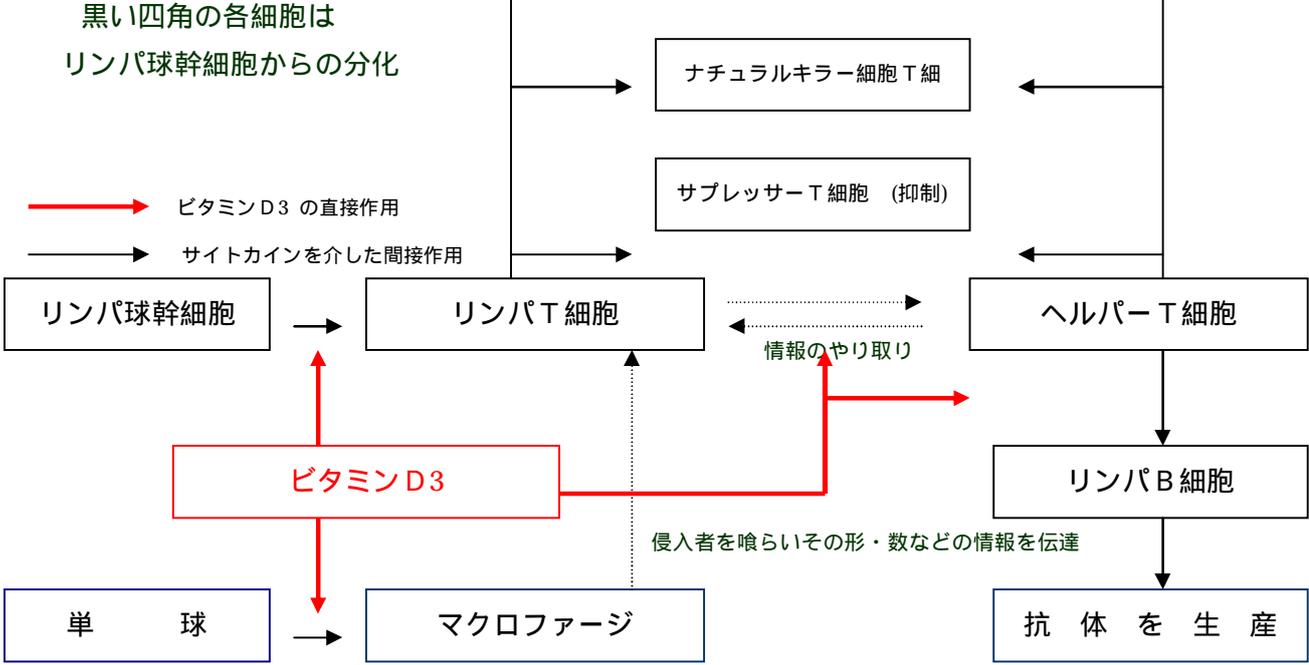
二つ目の要素としてビタミンD3の生成にあります。

日光浴で皮膚に直接あたる紫外線は、皮下脂肪に蓄えられた栄養素、ビタミンD前駆物質〔7・デヒドロコレステロール〕に反応してビタミンDが生成されます。生成されたビタミンDは血液に運ばれ肝臓、腎臓で代謝されて活性型ビタミンD3が完成します。

完成したビタミンD3は再び脂肪の中に蓄えられる事から脂溶性因子と呼ばれます。
このビタミンDには次の作用があります。

- 1、細胞内にはビタミンD受容体があり、これにはガンの細胞分裂を抑制する働きが報告されている。
- 2、ビタミンDが吸収を左右するカルシウムは、免疫応答を担う免疫細胞の分化や免疫活性物質「サイトカイン」の生産に直接あるいは間接的に極めて大きな影響を及ぼしていることと、ビタミンDには単核芽球から単球、マクロファージへの分化誘導を促進する作用などがある。

免疫応答における ビタミンD3の関与



全ての細胞分化にカルシウムが必要　カルシウムはイオン化し+の電位を持ち 60兆全ての細胞に出入りし電気エネルギーを与えている。
その為外部はマイナスイオンであれば電気的環境が良くなる。

三つ目の要素として体を温める温熱効果があります。

太陽光線が持っている特長は赤外線輻射熱です。熱の伝わり方は3種類(伝導・対流・輻射)ありますが、その中の輻射熱です。これは光だけが持っている特長です。

雪が降り春先の雪解けを見ていると雪は表面から解けているのではなく、地表面から解けていることが判ります。これは若干地熱もありますが大半は太陽光から発せられる光の赤外線が白いものは通過をし、黒いものに反応し熱を発するからです。

私達の体に赤外線が当たるとどうなるのでしょうか？光線治療器から発する赤外線は体内深部(約 15cm)位まで達すると言われております。この赤外線エネルギーは血液内の赤血球(ヘモグロビン)に当り発熱を始めます。私達の体はタンパク質で出来ていますので、熱に弱くそのままでは赤外線が当たっている細胞は熱による変質で死んでしまいます。その為脳の中にある機能(生体恒常性(ホメオスタシス))より赤外線が当り高温になっている場所に 36 の血液を大量に送り込みタンパク質が変質しないよう血管を膨らませ血流を多くするので。この作用は車のラジエターに似ています。結果は熱の当たっている所の血流が良くなるのですから「強く、上質」な血液が潤沢にあり、そこに故障箇所(ガン細胞)があれば、早急に免疫細胞が喰い尽くし正常細胞に変えるのです。また、ガン細胞(HIVウイルス等も同様)は熱に弱く、医学書では、39.5～42 で死滅する(正常細胞は 43～44)とされており(このことを温熱療法と言う)温熱療法が見直されています。(但し医療機関では紫外線の効能を重要視していないため、あまり効果が出ていません)ちなみに、HIVウイルスはヘルパーT細胞に遺伝子レベルで隠れ住み免疫細胞からの攻撃を避けています。

乗っ取られたヘルパーT細胞は本来免疫の中の司令塔ですが、司令塔の役割が果たせなくなり、弱いウイルスなどに侵され肺炎などを併発し死に至る病気です。このHIVウイルスに温熱療法を施すとHIVウイルスに侵されたヘルパーT細胞の周りにHIVの印を出して熱を冷まそうとし、この印を免疫細胞が見つげ出し攻撃をします。お近くにHIVで悩んでいる方があれば教えてやって下さい。このHIVウイルスは 42 の体温を三時間維持した場合概ね 50%に減少(新潟大学大学院医学部教授 安保 徹の新理論・体温免疫力 P - 108 より)している様です。たとえばガン(どんな病気でも)と聞き医者を選択する場合、免疫療法を考えている医者かどうかを見極めて下さい。後悔をしないため。私は絶対“光線療法”と考えています。ご自身、ご家族、友人・知人もっと永く共に暮したい方々が病気・障害で病んでいたらどうかこの内容を知らせてやって下さい。医者が居て人類が繁栄した訳ではないのですから。

推薦図書 安保 徹(新潟大学大学院医学部教授)の新理論！体温免疫力

発行所 株式会社ナツメ社

この著書の中では、お風呂に入ることにより温まり病気が治ると有りますが、お風呂では紫外線(ビタミンDなど)の有効性が無く、効果は薄いと考へます。(温熱効果は期待が出来る)

光 線 治 療 院

松 本 忠

346-0031 埼玉県久喜市久喜本 847-45

URL <http://www.kousenchiryuin.com/>

E メール info@kousenchiryuin.com